H-MESO-1□胞

300186

H-MESO-1□胞は悪性胸膜中皮腫患者由来のヒト中皮腫 □胞株で、肺や腹部の保護膜を覆っている □胞から発生する癌の一種である。この □胞株は、中皮腫の生物学、病態、治療戦略を研究する腫瘍学的研究に広く用いられている。

H-MESO-1□胞は中皮 □胞のいくつかの特徴を保持しており、中皮腫の研究に適したモデルである。H-MESO-1□胞は上皮様形態を示し、これは中皮腫の一般的な組織型の一つである。これらの□胞は、□胞周期の調節、アポトーシス抵抗性、中皮腫を誘発するアスベストやその他の環境因子の役割など、中皮腫の発生に関与する分子経路を調べるのに特に有用である。

研究においては、H-MESO-1□胞は中皮腫□胞と免疫系との相互作用、特に免疫チェックポイント分子や腫瘍微小環境が腫瘍増殖や免疫回避に及ぼす影響を検討するために用いられてきた。この□胞株はまた、中皮腫の進行に関与する特定の経路を標的とした新薬や新規免疫療法アプローチの有効性を試験する上でも貴重である。

さらに、H-MESO-1□胞は中皮腫に特徴的な遺伝的およびエピジェネティックな変化を調べるために使用され、早期診断のための潜在的なバイオマーカーや治療介入のための標的に関する洞察を提供する。H-MESO-1□胞株は化学療法剤に対する反応性と異種移植モデルにおいて腫瘍を形成する能力を有することから、中皮腫の新しい治療法の開発と検証において重要なツールとなっている。

概要

□明

H-MESO-1□胞は悪性胸膜中皮腫患者由来のヒト中皮腫 □胞株で、肺や腹部の保護膜を覆っている □胞から発生する癌の一種である。この □胞株は、中皮腫の生物学、病態、治療戦略を研究する腫瘍学的研究に広く用いられている。

H-MESO-1□胞は中皮 □胞のいくつかの特徴を保持しており、中皮腫の研究に適したモデルである。H-MESO-1□胞は上皮様形態を示し、これは中皮腫の一般的な組織型の一つである。これらの□胞は、□胞周期の調節、アポトーシス抵抗性、中皮腫を誘発するアスベストやその他の環境因子の役割など、中皮腫の発生に関与する分子経路を調べるのに特に有用である。

研究においては、H-MESO-1□胞は中皮腫□胞と免疫系との相互作用、特に免疫チェックポイント分子や腫瘍微小環境が腫瘍増殖や免疫回避に及ぼす影響を検討するために用いられてきた。この□胞株はまた、中皮腫の進行に関与する特定の経路を標的とした新薬や新規免疫療法アプローチの有効性を試験する上でも貴重である。

さらに、H-MESO-1□胞は中皮腫に特徴的な遺伝的およびエピジェネティックな変化を調べるために使用され、早期診断のための潜在的なバイオマーカーや治療介入のための標的に関する洞察を提供する。H-MESO-1□胞株は化学療法剤に対する反応性と異種移植モデルにおいて腫瘍を形成する能力を有することから、中皮腫の新しい治療法の開発と検証において重要なツールとなっている。

ティッシュ	肺
病気	胸膜中皮腫

同義語

- H-Meso-1
- HMESO-1
- HMeso-1
- HMeso1
- HMESO1
- H-Meso
- HMESO
- Hmeso
- Hmeso

分類

生物	人間
セックス	男性
成長特性	アドヘレント
バイオセーフティレベル	1

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

特徴

形態学	上皮様
腫瘍形成性	はい、ヌードマウスで

識別子

引用

H-MESO-1 (Cytion カタログ番号 300186)

NCBI 納税者番号	9606
セロサウルス	CVCL_5759

取り扱いと飼育

培地

RPMI1640、w: 2.0mM安定グルタミン、w: 2.0g/L NaHCO3（Cytion article number 820700a）

培養雰囲気	37°C、5%CO2、加湿雰囲気。

サプリメント

培地に10% FBSを加える

解離試薬	アキュターゼ

継代培養

接着した□胞から古いメデュームを取り除き、カルシウムとマグネシウ ムを除いたPBSで洗浄する。T25フラスコでは3-5ml、T75フラスコでは5-10mlのPBSを使用する。次に、T25フラスコでは1-2ml、T75フラスコでは2.5mlのアキュターゼで□胞を完全に覆う。室温で8-10分間インキュベートし、□胞を剥離させる。インキュベーション後、 □胞を10mlの培地と静かに混合して再懸濁し、 300xgで3分間遠心する。上清を捨て、 □胞を新しいメデュームに懸濁し、新しいメデュームの入った新しいフラスコに移す。

播種密度	1 × 10^4 □胞/cm^2
流体の更新	5~7日ごと
解凍後の回復	解凍後、□胞を5×10^4□胞/cm^2で播種し、凍結処理からの回復と接着を少なくとも 24時間以上行う。

解凍と培養

Confirm that the vial remains deeply frozen upon delivery, as cells are shipped on dry ice to maintain optimal temperatures during transit.
Upon receipt, either store the cryovial immediately at temperatures below -150°C to ensure the preservation of cellular integrity, or proceed to step 3 if immediate culturing is required.
For immediate culturing, swiftly thaw the vial by immersing it in a 37°C water bath with clean water and an antimicrobial agent, agitating gently for 40-60 seconds until a small ice clump remains.
Perform all subsequent steps under sterile conditions in a flow hood, disinfecting the cryovial with 70% ethanol before opening.
Carefully open the disinfected vial and transfer the cell suspension into a 15 ml centrifuge tube containing 8 ml of room-temperature culture medium, mixing gently.
Centrifuge the mixture at 300 x g for 3 minutes to separate the cells and carefully discard the supernatant containing residual freezing medium.
Gently resuspend the cell pellet in 10 ml of fresh culture medium. For adherent cells, divide the suspension between two T25 culture flasks; for suspension cultures, transfer all the medium into one T25 flask to promote effective cell interaction and growth.
Adhere to established subculture protocols for continued growth and maintenance of the cell line, ensuring reliable experimental outcomes.

品質管理と凍結保存

無菌性

マイコプラズマ汚染は、PCRベースのアッセイと発光ベースのマイコプラズマ検出法の両方を用いて除外される。
□菌、真菌、酵母のコンタミネーションがないことを確認するため、 □胞培養物は毎日目視検査が行われる。

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB

凍結培地	凍結保存培地としては、融解後の生存率を十分に高めるために完全増殖培地（ FBSを含む）＋10％DMSO、または回復を促進し凍結によるストレスを軽減するために最適化された浸透保護剤と代謝安定剤を含む CM-1（Cytionカタログ番号800100）を使用している。

保管条件

長期保存の場合、バイアルを-150～-196℃の気相液体窒素に入れる。80℃での保存は、液体窒素に移す前の短い暫定措置としてのみ許容される。

配送条件

凍結保存された□胞株は、輸送中約-78℃を維持するのに十分な保冷剤とともに、有効な断熱包装でドライアイスとともに輸送される。受領後、直ちに容器を検査し、遅滞なくバイアルを適切な保管場所に移してください。

寄付者

ドナーの年齢	35年
民族	白人

法務・安全

安全上の注意事項

将来の融解のためにクライオバイアルを液体窒素に保存する場合、厳格な安全対策を遵守することが必須である。適切な保護手袋と保護衣は不可欠であり、液体窒素タンクへの凍結サンプルの移動中または液体窒素タンクからの凍結サンプルの移動中には、フェイスマスクまたは安全ゴーグルの使用が義務付けられている。これは、凍結試料を取り出す際に、凍結試料が爆発し、鋭利な破片が飛び散って怪我をするリスクを軽減するためである。

保証

サイシオンは、製品の品質と生存率を保証します。
当社では、培養を開始した時点で、当社施設からの出荷後 60日間、□胞が生存可能であることを保証しています。
すべての材料が、分析証明書および／または製品シートに記載された仕様に適合していることを保証します。
詳□については、<a href=""/Who-we-are/Warranty/"" hreflang=""x-default"">Warranty Statement をご参照ください。

物質移転契約書の締結が必要	Yes

Cytion GmbH
Nikola-Tesla-Str. 3
69124 Heidelberg
Tel: +49 (0)6221 405780
info@cytion.com
cytion.com

Registered office Heidelberg
VAT ID: DE283292917
Local court Mannheim - HRB 714394
CEO / Geschäftsführer: Jonathan Steubing

Banking information
Sparkasse Heidelberg
IBAN: DE35 6725 0020 0009 2076 86
BIC: SOLADES1HDB